

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	霧島市牧園地区家庭教育支援チーム (呼称:子育てサロン「まきっこくらぶ」) URL: _____
②活動拠点	牧園農村活性化センター
③活動範囲	牧園地区を中心に霧島市全域
④組織体制	35 人 子育てサポーター(民生委員・児童委員)32人 元保育士2人 元教員1人
⑤活動開始年度	令和2年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 霧島市役所牧園総合支所地域振興課教育グループ (TEL)0995-76-2701 (E-mail) makizono@city-kirishima.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☐ 小学生(低学年) ☐ 小学生(中学年) ☐ 小学生(高学年) ☐ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 「親子の育ちを支える」ことをとおして、家庭教育の充実を図ることを目的とした各種活動の推進 ・ 牧園地区を中心に子供同士、保護者同士の交流を図っている。 ・ 子育ての先輩である子育てサポートリーダーやサポーターとの交流をとおして、負担や不安の軽減を図っている。 ・ 参加者同士の交流をとおして地域の活性化を図っている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・ 地域の子育て世代のコミュニケーションの活性化が図られ、子育てネットワークが構築されつつある。 ・ 世代を超えた子育て情報の共有化が図られている。 ・ 活動をとおして子供同士の交流が活発になり、子供の身体的・社会的成長がみられる。 ・ 保護者同士の交流をとおして、子育ての悩みや苦勞を共有し、前向きな子育てができるようになってきている。 ・ 地域の子育てネットワークの拡充により、地域コミュニティの活性化が図られている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (社会福祉協議会「共同募金助成事業」)